



目 次

地域連携関連	1
病診連携施設紹介	2
看護部だより「学会発表」	3
お知らせ「産前・産褥入院のご案内」	4
栄養相談室	5
医療安全管理室	6
ア・ラ・カルト「インフルエンザ」 ワクチン・予防・対処法	7~9
催しもの「クリスマスコンサート」・患者数	10
外来医師担当表／職員募集	11

発行：独立行政法人 甲府病院 広報委員会
国立病院機構
発行責任者：長沼博文
住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町11-35
電話：055-253-6131
ファックス：055-251-5597
ホームページ：<http://www.kofu-hosp.com/>
Eメール：kofu@kofu.hosp.go.jp



「新雪の富士」

当院より望む富士の山も、気がつけばすっかり雪化粧が施されている。新雪の富士が、今年もまた、甲府の街に冬の訪れを告げる。
(管理課庶務係 山田 昌弘)



独立行政法人国立病院機構 甲府病院の理念

1 基本姿勢

患者さまの目線に立ち、優しさと思いやりをもって病める人々が心を癒し、病を回復し健康を維持されるよう努めます

1 政策医療と地域医療

成育、重症心身障害を中心に当院で提供する全ての医療を政策医療として位置づけ、国民の健康と安全に寄与すると同時に、地域医療として山梨県民の皆様へ還元し、県民に選ばれ、お役に立てるように日々努力します

1 患者様の権利

患者さまの平等で適切な医療を受ける権利、知る権利、選ぶ権利を守ります

1 研究と教育

全ての医療職種に貢献できる質の高い臨床研究と教育研修の推進に努めます

1 安定した経営

たゆまぬ意識改革を行い、独立行政法人として安定した経営を目指します

地域連携関連

認知症の検査について

～第2報 認知症の原因について～

放射線科 石川 カ也

今回は認知症の診断に有効な検査方法として脳血流SPECTおよびe-ZISについてまとめましたが、今回は認知症の主な原因となる3つの病型と特徴についてご説明いたします。

①アルツハイマー型痴呆：Alzheimer's disease (AD)

症状は、徐々に進行する認知障害（記憶障害、見当識障害、学習の障害、注意の障害、空間認知機能、問題解決能力の障害など）で、徐々に社会的に適応できなくなります。重度になると摂食や着替え、意思疎通などもできなくなります。脳血流検査では後部帯状回の血流が特に低下します。

②びまん性レビー小体病：Diffuse Lewy body disease (DLB)

脳の特定の神経細胞の中に、特異な変化（レビー小体）が現れる病気です。幻覚（特に幻視）や妄想などの症状からはじまり、物忘れなどの痴呆症状が現れ、さらにパーキンソン病に似た運動障害が出てきます。高齢者は数年すると寝たきりになることも多いです。脳血流の変化としては、後頭葉の血流低下を示します。

③前頭側頭型痴呆：frontotemporal dementia (FTD)

認知障害はあまり目立たず、性格の変化、行動機能の低下と言語障害が主な症状です。アルツハイマー病に比べ発症が若い傾向があります。脳血流検査では前頭葉や側頭葉の血流低下がみられます。これら3つの疾患による脳血流の低下した様子をまとめたものが図1になります。

単に認知症といっても原因によってその症状は大きく異なります。したがって症状に合わせた適切な対応をする為に、まずは原因の特定を行うことが重要となります。また、最近では認知症に対する薬物療法も大きく進歩し、症状のコントロールがある程度可能となっております。早期に正しい診断を行い病気を理解することが、患者様にとっても、また介助を行うご家族にとっても非常に重要です。

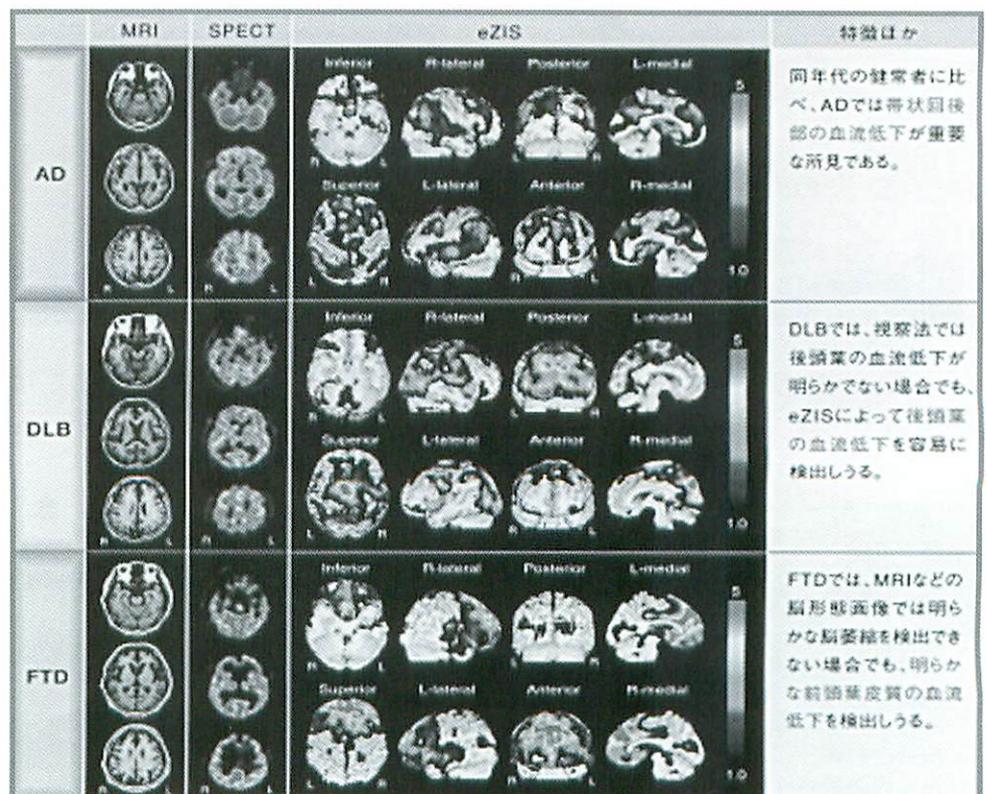


図1 原因疾患ごとの血流低下パターン

病 診 連 携 施 設 紹 介

三羽医院

院長 三羽 啓史

当院は3つの原則にたってやってきました。

第1はアットホームな医療です。

これは医院の雰囲気だけでなく、生活の場での医療をさします。かかり易い医療を目指し、その一環として、日曜日の診療や、在宅医療に力を入れてきました。

第2は患者さんとともに考える医療です。

当院は6人と少人数ですが、保健

師1人と看護師3人がいます。患者さんとの話し合いを重視し、生活習慣病の療養相談や食事指導に力をいれてきました。

第3は高い医療の質を確保することです。

たとえ地域の小診療所でも、患者さんにとって必要な検査や治療は十分提供することが求められます。当院はそれを自院内で保証するのでなく、他の医療機関との協力関係の中で行います。我々は患者さんの側からコーディネーターとしての役割を担います。

以上の当院の医療活動にとって、他の医療機関や専門医との密接な関係はとりわけ大切なものと考えてきました。

国立甲府病院には大変お世話になって来ました。

特に特養の担当医をしていたときは、甲府病院なしには入所者の健康管理は不可能でした。

外科的手術から急性疾患の対応、胃瘻のトラブル、尿閉の処置等いろいろ助けて頂き感謝しています。

その医療の質の高さも認識してきました。

今後も協力医療機関として、専門的医療や入院対応等いろいろお世話になるとは思いますが、よろしくお願いたします。



三羽医院スタッフ（上段右が三羽院長）



三羽医院外観

◆診療科目

循環器科・内科・小児科

◆診療時間

8：30～12：00（木曜日を除く）

15：00～18：00 火曜・金曜日

※土曜・日曜日診療行なっています。

◆休診日

木曜日・祝日

住所：〒400-0074 甲府市千塚1丁目5-24

TEL：055-252-7571 FAX：055-254-5533

※インターネットの「i-タウンページ」でも三羽医院の情報をご覧いただけます。

看護部だより

看護の質の向上を目指して

看護部 看護師長

藤巻 好廣（看護研究会会長）

当病院は、地域医療と政策医療を中心に、通院治療を行う外来、手術室、病棟は各専門領域に別れ、分娩・新生児・未熟児を専門とする高度周産期医療センター、手術を目的とする外科的治療や内科的治療を専門に行う病棟、重度の障害を持った患者の皆さまの治療と療育を専門とした重症心身障害病棟から成り立っています。

看護実践においては、必要な知識・技術、態度はもちろん、看護研究を通し看護の専門性を深め、看護実践能力の向上を目指しています。

看護研究会は、甲府病院の看護の発展に努め、併せて看護の資質の向上を目的とし活動しています。私たちは臨床現場に即した看護研究を熱心に取り組み、毎年院内において看護研究発表会を実施しています。院外では平成18年度は国立病院総合医学会に2題発表しました。平成19年度は名古屋市で開催された国立病院総合医学会に7題、高松市で開催された日本新生児看護学会に1題、仙台市で開催された日本内視鏡外科学会に1題と、全てのセッションが全国各地で行われる学会に、専門分野の看護研究を発表しています。

今は、看護の質が問われる時代でもあり、医療はさらに高度化し、ケアやニーズも複雑化しています。看護は高度化した医療を支える優れたケアを提供する必要があります。看護研究により看護の質の向上に役立つエビデンスを追求していくとともに、研究における倫理も高めていく必要があると考えます。

今後も私たちはそれぞれの専門分野において、日々の看護実践能力を高め、看護の質の向上を図ることに努力していきます。そして患者個々に適切な看護を展開することで、患者の皆さまの安全・安楽を確保し、より質の高い看護サービスの提供ができるよう努めていきます。



国立病院総合医学会での発表風景



日本新生児看護学会での発表風景



お 知 ら せ

産前・産褥入院のご案内



12月1日より「産前入院」、「産褥入院」を開設しました。出産前、あるいは産褥期に安心・安全に過ごしていただくために特別個室を提供し、健康指導等を行います。



☆産前入院は、

出産予定日間近で自宅で過ごすには不安のある方、病院までの移動に時間がかかるなど不安のある方に保健指導を受けていただきながら安心・安全に出産に備えていただけます。

費用は1日10,000円

(提供する部屋によっては12,000円)
食事、保健指導込みです。

☆産褥入院は、

産褥期で育児に不安のある方、家族の支援が得られない方などに乳房ケア、保健指導を受けていただきながら安心してゆったり産褥期を過ごしていただけます。

費用は1日15,000円

食事、保健指導込みです。

♪これらの入院は、ご本人の希望により特別室を提供するものであり、原則、予約制となっています。希望される方は外来スタッフまでご連絡ください。

(分娩入院中の方は病棟スタッフまで)

♪ご提供する部屋は3階病棟です。分娩の際に入院する病棟とは異なります。

♪お申し込みは
外来看護師長(右の連絡先)までお願いいたします。



お申し込み・お問い合わせ先
国立病院機構甲府病院
055 (253) 6131

栄養相談室

栄養管理室部門紹介

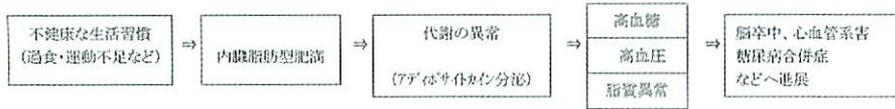
栄養管理室長 原 義隆

「メタボリックシンドローム」を 防ぐための食事(第2回)



前回お話ししたように、不規則な生活習慣により、メタボリックシンドロームへの危険が増大します。メタボリックシンドロームを構成する高血糖・高脂血症・高血圧・肥満症などは、その程度が軽くても、

不健康な生活習慣が心血管系障害を引き起こす



重複した場合には虚血性心疾患や脳卒中、さらに糖尿病発症のリスクが飛躍的に増大することが、多くの疫学調査により示されています。また、その元となる

中心は「肥満」であると言われています。太っていなければ大丈夫? と思っではないでしょうか。外見からは太って見えない方の中にも糖尿病や高脂血症などだったりする場合があります。肥満には、「皮下脂肪型肥満」と「内臓脂肪型肥満」の二つのタイプがあり、後者がメタボリックシンドロームの元凶と言われ、「隠れ肥満」などという言葉でも表されています。また、近年、脂肪細胞からいくつかの重要な生理活性物質（アディポサイトカイン）が分泌され、体の機能に影響していることがわかってきました。内臓脂肪が過剰にたまとそれらのサイトカインの分泌に異常が現れ、血糖値・中性脂肪・血圧が高くなりやすくなります。血栓が出来やすくなるのもサイトカイン分泌の影響と言われています。今回は、各疾患予防における食習慣改善の工夫についてお話し致します。

◆食事は1日3食とりましょう

朝・昼・夕と規則正しく食べましょう。朝食ヌキから脱出を…まずは、乳製品・果物・ロールパンなど無理せず続けられるところから改善を。

◆コンビニ弁当もバランスを

忙しいときや、一人暮らしの方は、コンビニ弁当ですましてしまう方も多いはず。そんな時は、牛丼・カツ丼など丼物ではなく、幕の内系のお弁当を、また、野菜の煮物やサラダ（ドレッシング注意）をつけて野菜アップを。

※カロリー表示を確認する習慣も忘れず！→ごはん・揚げ物1品残す勇気を

◆缶コーヒー・清涼飲料水に注意!

「朝の目覚めに…」と気軽に飲める缶コーヒーですが、190g缶にペットシュガー（6g）約3本分の糖分が含まれています。また、カロリーオフの表示も100ml当たり20kcal以下のエネルギー量がありますので注意が必要です。コーヒーは無糖で、その他はお茶類の水分補給を心がけましょう。

◆果物も量に注意

果物には、各種ビタミン・ミネラルが含まれ、食物繊維も豊富に含まれていますが、糖分（果糖）もたくさん含まれています。果物の豊富な山梨県です



が、量に注意し、1日にミカン2個かバナナ1本程度としましょう。

◆料理は小皿に盛り付けましょう

大皿に盛り付けて、小皿にとって食べると、つい食べ過ぎてしまい、好きな物だけたくさんというように偏りもでてしまいます。一人分ずつ小皿に盛り分けて盛り付けましょう。

◆食事は時間をかけてゆっくりと

ご存じのとおり、「早食い」は食べ過ぎにつながり、肥満の原因にもなります。“一口入れたら20回”というように、良く噛んで食べる習慣を心がけましょう。また、このことから、普段より少ない量で満腹感が得られ、「腹八分目」を実践できるでしょう。

参考資料



<http://metabolic-syndrome.net/>

医療安全管理室より

安全で活気ある職場を目指して

医療安全係長（看護師長）稲垣 あさ子

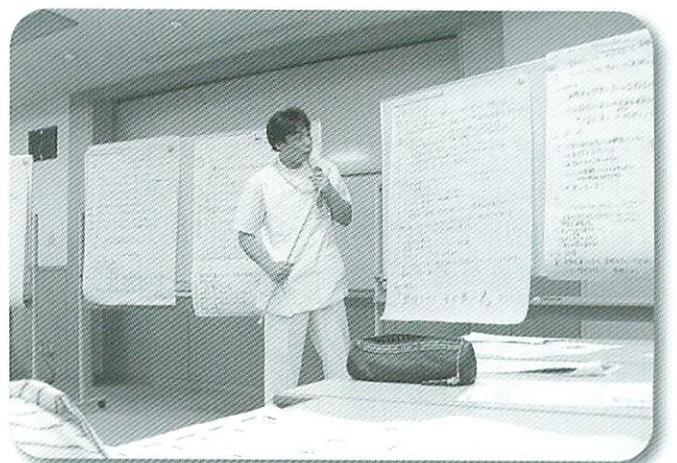
皆さんは「危険」という言葉にどのようなイメージをお持ちでしょうか？ 我々が自宅にいる時も又、一步外に出て道を歩いている時も、そして職場で働いている時も「危険リスク」は至る所に潜んでいます。増しては医療行為には多くの不確定要素が潜在し私達の周囲は常に危険と隣り合わせのため、どんなに注意喚起しても「リスクゼロ」はあり得ません。ならば24時間、365日各職場に於いて「正しく」「早く」危険を発見し把握し解決していく事が私達医療者の使命と考えます。病気で不安な患者様に安心して治療に専念して頂くためにそして、医療従事者一人ひとりがやり甲斐と誇りを持ち、安全で活気ある職場とするために今年も「KYT」の研修に、院内が一丸となり取り組みました。「KYT」とは危険の K、予知の Yそしてトレーニングの T の頭文字をとったものです。正にその名の通り危険を予知して訓練する活動です。今回は一枚のイラストにどんな危険が潜んでいるのかを、1グループ15人程度のメンバーでワイワイガヤガヤと自由に意見や個々の考えを出し、内に潜む危険を出来るだけ多く発見し「何が危ないか」を正確に捉え実行可能な具体策を立て、



最後に「必ず実施すべき重点項目」を決定し、それを「チーム行動目標」として設定しました。

この研修のメインイベントは、チームの行動目標を全員で「指差し唱和」することです。指差し唱和は討議してきた内容を皆で確認し合うとともにチームの一体感、連帯感を盛り上げるのに大変役立ちます。

「指差し」か「呼称」をした時は、どちらもしない場合と比べエラーの発生率は、 $1/2$ ないし $1/3$ に減少することが実証されています。更に両方の「指差し呼称」を行うことによりエラーの率は $1/6$ に低下するとまで言われています。



医療安全管理研修の様子

研修会は、どのグループも活発な意見交換で充実した時間を過ごすことができ、今後各職場で還元してくれることを期待しています。

私達医療の現場だけでなく、皆様も火の元の確認や、外出時における戸締まりの確認時に是非一度「指差し呼称」を実践してみてください。

医療安全管理研修
《危険予知の技法 (KYT)》



2007
10/24日 (水) 1回目
10/31日 (水) 2回目

医療安全管理室

アラカルト

くすりのはなし

調剤主任 荒 義昭

インフルエンザ

今年も残すところあとわずかになりましたが、みなさん風邪など引いておりませんか？さて、風邪と同じように冬に流行する感染症としてインフルエンザがあげられます。インフルエンザという名前の由来は、16世紀イタリアで「冬の時期に流行するのは星や寒気の影響ではないか？」と言われたことから「influence（影響）= influenza」と名付けられたと言われております。日本では平安時代、「増鏡」にその記載が見られ、江戸時代には「お駒風」「谷風」などと呼ばれていました。

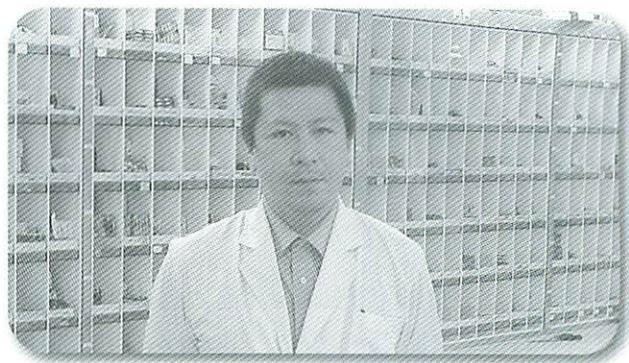
1918～1919年にかけて全世界で流行した「スペインかぜ」は、インフルエンザウイルスが原因であり、罹患者約6億人、当時の世界人口の50%が感染し、亡くなった人は2,000万人を越え、第1次世界大戦終結の遠因とも言われています。日本では大正8～9年にかけて持ち込まれ、罹患者は人口の約半数の2,380万人、亡くなった人は38万8727人と報じられています。

予防（ワクチン）

インフルエンザの予防には、ワクチン接種が最も効果的で、健康成人で70～90%の効果が認められ、また高齢者ではインフルエンザ関連死の危険を約80%減らすと言われております。インフルエンザワクチンは、3種類の混合ワクチン（A型のH1N1、H3N2とB型）で、さらにウイルスは変異株によって抗原性が異なるため、前シーズンの国内での流行状況やWHOによる情報を元にして使用する変異株が決定されています。ちなみに今シーズンはH1N1がソロモン諸島株、H3N2が広島株、B型がマレーシア株です。

ワクチン接種には2回接種する場合と1回接種があり、13歳以上では1回でも良いとされます。2回接種する場合、接種間隔は1～4週間とされていますが、免疫効果を考慮すると4週空けることが望ましいとされます。

また、65歳以上の高齢者や以下の基礎疾患がある方は、インフルエンザに罹患すると重症化する



可能性があるため、ワクチン接種が推奨されます。（基礎疾患：気管支喘息等の呼吸器疾患、慢性心不全、先天性心疾患等の循環器疾患、糖尿病、腎不全、免疫不全症（免疫抑制剤による免疫低下も含む）など）

妊婦のワクチン接種については、胎児に影響を与えることは考えられず、また特別な副反応の報告もありません。ワクチン接種については、主治医と十分相談してから判断してください。授乳しているお母さんについては、ワクチンが母乳を介して子供に影響を与えることはありませんので、ご安心ください。

最後に

風邪やインフルエンザは、重症化したり合併症を併発すると危険な病気です。普段から手洗い・うがいを習慣づけて、流行時期には人混みに出ない、また外出する時はマスクをするなど予防に心がけましょう。

参考文献

- 1) 国立感染症研究所感染症情報センター：予防接種のページ（インフルエンザ）：
<http://idsc.nih.gov.jp/vaccine/atopics/atpcs002.html>, 2007/10/15アクセス
- 2) 国立感染症研究所感染症情報センター：インフルエンザ総説：
<http://idsc.nih.gov.jp/disease/influenza/intro.html>, 2007/10/15アクセス
- 3) Wikipedia：
<http://ja.wikipedia.org/wiki/インフルエンザ/>, 2007/10/15アクセス
- 4) インフルエンザ情報サービス：
<http://influenza.elan.ne.jp/>, 2007/10/15アクセス

インフルエンザの 「予防」について

感染管理担当看護師長

岩下 美代子

今年もインフルエンザの季節がやってきました。対策はいかがでしょうか？

インフルエンザは、突然の38℃以上の高熱、頭痛、筋肉や関節痛、倦怠感などの全身症状を伴うことが特徴です。また、インフルエンザは症状が重く、感染力が強いので特に予防が必要です。

インフルエンザ予防としては、体調を整える、ワクチン接種を受ける、感染ルートを断つことが効果的です。では具体的な予防方法をご紹介します。

予防方法

流行前のワクチン接種

予防の基本は、流行前にワクチン接種を受けることです。

ワクチンは、予防するだけでなくインフルエンザにかかった場合、重症化防止に有効とされています。

日常生活での予防

日常生活では、体調を整えて抵抗力をつけ、ウイルスに接触しないことが大切です。

1. 栄養と休養を十分取る

- 体力をつけ、抵抗力を高める事で、感染しにくくなります。
- 十分に休養をとり、体力や抵抗力を高め、常日頃からバランスよく栄養をとることが大切です。

2. 人ごみを避ける

- ウイルスを寄せ付けないようにしましょう。
- インフルエンザが流行してきたら、特に高齢者や慢性疾患を持っている人、疲労気味、睡眠不足の人は、人ごみや繁華街への外出を避けましょう。



3. 適度な湿度を保つ

- 空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下しインフルエンザにかかりやすくなります。
- ウイルスは、低温・低湿を好み、乾燥しているとウイルスが長時間空気中を漂っています。室内の適度な湿度(50~60%)を保ちましょう。

4. 外出後の手洗いとうがいの励行

- 手やのどに付着したウイルスを物理的に除去するのに有効です。
- 手洗いは接触による感染を、うがいはのどの乾燥も防ぎます。

5. マスクを着用する

- 予防が必要な方はマスクを着用しましょう。
- インフルエンザに罹った人では、咳やくしゃみの飛沫から他人に感染するのを防ぎます。
- 「人に対して」という意味で「エチケットマスク」とも言われています。



「お子さまがインフルエンザにかかったとき、親ができる対処法」

小児科医長 中根 貴弥



ふつうの風邪の場合には、のどの痛み・鼻水・くしゃみ・せきがおもな症状ですが、インフルエンザにかかったときには、風邪の症状のほかに、頭痛・関節痛・筋肉痛などの症状が見られます。また、発熱もインフルエンザに罹患したときのほうが重症であることが多く、これ以外にも小児では熱性けいれん、中耳炎、気管支炎を併発したり、まれではありますが、急性脳症に進展することがあり、充分気をつける必要があります。

家庭でできる対処法として、

- 水分補給をこまめに（室温程度の子ども用イオン飲料、湯ざまし、麦茶など）
- 熱の出始めの寒気があるときは暖かく、体の熱感が出てきたら、部屋を涼しく薄着に。
室温に注意（目安として、冬季20-25℃、夏季26 - 28℃）。

熱があっても、元気そうだったら、解熱剤を使用する必要はありません（解熱剤は症状を緩和するだけで、根本的な治療には結びつきません）。体温が38.5℃以上で、食欲がなく、頭痛などがあって、つらそうな時、眠れない時などに、5-6時間以上の間隔をあけて、1日2回までを目安に使います。インフルエンザの場合は、アスピリンなどの解熱剤

を使うと重い合併症を起こすことが知られていいますので、解熱剤の使用に当たっては、かかりつけ医の指示に従ってください。

インフルエンザに対する治療薬の抗ウイルス剤は医療機関で診察の上、使用できます。インフルエンザの診断が確定したのちに、はじめて抗ウイルス剤を処方します。インフルエンザの診断がはっきりとできるのは、発熱後約12時間経過してからですので、夜間発熱があったからといって、直ちに救急外来に行く必要はありません。

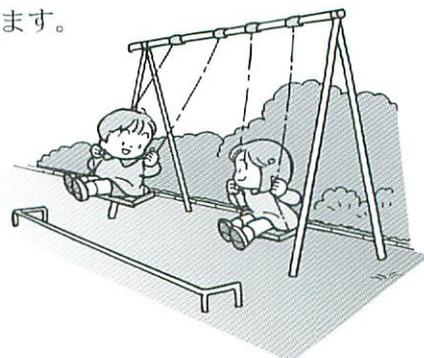
発熱があって、ただちに救急外来を受診しないといけないのは、

- 生後2ヶ月未満である場合
 - 水分を受け付けない、おしっこが半日くらい出ない
 - ぐったりしている
 - けいれんをおこした
 - 顔色が悪く、あやしても笑わない
 - 眠ってばかりいる
- などの場合です。

山梨県の場合には、小児初期救急医療センターが休日・夜間の医療を担当し、小児科を専門にする医師が診察にあたっています。

（電話 055-226-3399）

また、これ以外にも地域の救急当番医もいますので、ふだんから確認しておくことが大切です。また、「こども救急ガイドブック」（日本小児科学会山梨地方会・山梨県小児科医会）が、こどもの救急時の対応についてふれています。当院の外来にも置いてありますので、ぜひご覧になることをお勧めします。



催し物

甲府病院 クリスマスコンサート



甲府病院

クリスマスコンサート

美しい音の調べを
お楽しみください。
皆様のお越しを
お待ちしております。



写真は夏に開催された
ロビーコンサートの様子

12月22日(土) 14:00

病院内 1階外来ロビーにて

曲名 風の歌・ゆき・ふるさと
他全6曲



平成19年度一日平均患者数

入院

※11月分及び年度累計は11月末日現在 (小数点以下第2位は四捨五入)

種別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般		107.0	108.6	109.5	98.3	94.3	110.5	106.2	117.8					106.4
重心		119.8	120.0	118.9	119.5	118.6	117.5	118.9	120.2					119.2
計		226.8	228.5	228.3	217.8	212.8	228.0	225.1	238.0					225.6

外来

※11月分及び年度累計は11月末日現在 (小数点以下第2位は四捨五入)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	305.5	302.2	303.5	313.9	283.0	318.6	311.0	299.3					304.1

外来医師担当表

平成19年12月17日現在

		月	火	水	木	金
内科	1	渡 邊	川 口	渡 邊	渡 邊	渡 邊
	2	黒 澤	黒 澤	黒 澤	川 口	黒 澤
	3		循環器科尾畑		中 尾	
	4	呼吸器科金沢				
脳外科	5	長 沼	長 沼		長 沼	長 沼
特殊外来 午後3時～			渡 邊			
消化器科		稲 岡	稲 岡	大 塚		肝臓専門外来 鈴木
小児科	1	久 富	稲 見	加 藤	久 富	田 口
	3	中 根	神 谷	中 村	中 根	野 口
神経外来(午後)		中 村	野 口	神 谷		中 根
摂食外来(午後)					第2週 神谷 第3週 小野	
外科		鈴 木	角 田	角 田	鈴 木	角 田
整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩 野	若 生	若 生	萩 野	萩 野
	2	若 生	落 合	落 合	戸野塚(久)	落 合
泌尿器科		相 川	萱 沼	相 川	相 川	相 川
産婦人科	1	滝 澤	雨 宮	滝 澤	雨 宮	朝 田
	2	雨 宮	朝 田	高 木	朝 田	滝 澤
眼科			戸野塚(敏)	関 根		今澤(入院)
耳鼻咽喉科					矢 崎	

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)
 ※乳児健診/毎週 火・木曜日(完全予約制) ※人間ドック/毎週 火・木曜日 脳ドック/毎週 火・金曜日
 ※予防接種(小児科)/毎週 水曜日(完全予約制) ※毎月第4金曜日/黒澤医師 糖尿病教室

募 集

◇周産期新生児専門医コース

- 対象：小児科専門医
- 期間：6ヶ月間の国立成育医療センターでの研修を含め、3年間。
- 募集人員：若干名
- 身分：常勤医師
- 指導医：副院長 久富 幹則(暫定指導医)

◇整形外科後期臨床研修コース

- 対象：原則、卒業後3～5年の医師
- 期間：3年間
- 募集人員：2名
- 身分：常勤医師
- 指導医：外科系診療部長 萩野 哲男(診療科経験年数18年)
整形外科医長 落合 聡司(診療科経験年数9年)

◇その他医師を募集しています。

保育士(育休代替)を募集しています

- 勤務内容：重症心身障害児通園ルーム

環境美化ボランティアを募集しています

- 活動内容：病院敷地内の清掃、除草、花壇整備等

平成20年度採用 看護職員募集 随時行っております



当院ホームページより「受験願書」「採用希望施設票」をダウンロードの上、当院管理課人事担当宛にお送り下さい。折り返しご相談をさせていただきます。



宛先および照会先

〒400-8533
山梨県甲府市天神町11番35号
国立病院機構甲府病院
管理課 人事係
電話 055-253-6131(代表)